SALAMANCA SELECTION

三輪眞弘＋福島諭 二人展

—佐治敬三賞受賞記念—
ぎふ未来音楽展2022

いま明かされる…あの作曲家の全貌とは
未来を奏でる、未来を語る、コンサート＆シンポジウム！

Miwa

2022.9.18 sun

14:00開演（13:00開場） サラマンカホール（岐阜市薮田南5-14-53）

Fukushima

❖ コンサート
14:00〜16:00（予定）
❖ シンポジウム
コンサート終演後 〜17:00
—第52回サントリー音楽賞受賞 ＆ 第20回佐治敬三賞受賞記念—
テーマ：三輪眞弘を「みる・きく・よむ」〜いま、三輪眞弘の音楽を語る〜

コンサート＆シンポジウム
全自由席 2,000円
［サラマンカメイト 1,800円］※学生半額（30歳まで）
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※車いす席、学生席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取り扱いです。
主催／サラマンカホール
共催／情報科学芸術大学院大学［IAMAS］

サラマンカメイト・一般同時発売 ： 7月19日(火) ※ 電話・インターネット 9:00〜／窓口 12:00〜

チケットのお求め｜サラマンカホール チケットセンター
058-277-1110 ［ 9:00〜21:30 ］
ネット予約は公式サイト「サラマンカ・オンラインチケット」で
サラマンカホール 検索

［ご来場の皆様へ］
新型コロナウイルス感染防止対策ご協力のお願い
本公演は、国・県・業界団体のガイドラインに則って開催いたします。
ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒等のご協力をお願いいたします。
詳しくはサラマンカホール公式サイト、当日の館内掲示にてご確認ください。

日本の音楽界で独自の存在感を示してきた作曲家・三輪眞弘を応援し、ともに「ぎふ未来音楽展」を開催してきたサラマンカホールにとって、2020 年度のサントリー音楽賞（三輪眞弘）と佐治敬三賞（サラマンカホール）のダブル受賞は格別のよろこびでした！
それを記念して「ぎふ未来音楽展2022」は、作曲家・福島諭との師弟「二人展」と、特別ゲストを迎えての記念シンポジウムをダブルでお届けします。
未来の音楽を岐阜から考える、全国的にも意義のある企画にどうぞご期待ください。

Miwa

Fukushima

プログラム

弦楽四重奏曲 ハ長調「皇帝」、弦楽六重奏曲「369 Harmonia II」、虹機械 Koan-001／作曲：三輪眞弘
五管の木管アンサンブルとコンピュータの為の《春、十五葉》（2015）／作曲：福島諭
『日々《変容の対象》8月』／作曲：福島諭＋濱地潤一（変容の対象）、映像：前田真二郎（日々“hibi”AUG）
※曲目・曲順は変更になる場合があります。

演　奏

ヴァイオリン ： 亀井庸州、辺見康孝
ヴィオラ ： 安田貴裕、迫田圭
チェロ ： 多井智紀、川上統
クラリネット ： 鈴木生子、櫻田はるか、芹澤美帆
オーボエ ： 山口裕加
サクソフォン ： 濱地潤一
ピアノ ： 山内敦子
映像送出 ： 森田了

シンポジウム登壇

パネリスト ： 三輪眞弘、福島諭、岡田暁生
モデレーター ： 浦久俊彦

三輪 眞弘［作曲家］Masahiro Miwa

1958年東京生まれ。ベルリン芸術大学、ロベルト・シューマン音楽大学で作曲を学ぶ。コンピュータを用いたアルゴリズミック・コンポジションと呼ばれる手法で数多くの作品を発表。第10回入野賞1位、第14回ルイジ・ルッソロ国際音楽コンクール1位、第14回芥川作曲賞、2007年「逆シミュレーション音楽」がアルス・エレクトロニカのデジタルミュージック部門にてゴールデン・ニカ賞（グランプリ）、2010年芸術選奨文部科学大臣賞（芸術振興部門）、第52回サントリー音楽賞などを受賞。「三輪眞弘音楽藝術 全思考 一九九八ー二〇一〇」をはじめ、CD「村松ギヤ（春の祭典）」や楽譜出版など多数。旧「方法主義」同人。「フォルマント兄弟」の兄。情報科学芸術大学院大学［IAMAS］教授。

福島 諭［作曲家］Satoshi Fukushima

1977年新潟生まれ。情報科学芸術大学院大学［IAMAS］ 修了。現在、博士後期課程在籍。2002年よりリアルタイムなコンピュータ処理と演奏者との対話的な関係によって成立する作曲作品を発表。また、即興演奏とコンピュータによる独自のセッションを試みるバンド Mimiz（みみづ）メンバー。濱地潤一との共同作曲による室内楽作品《変容の対象》を2009年から継続している。2020年以降は、他者との共同制作のあり方を音楽以外の表現へ拡張することを試みている。2016年G.F.G.S.レーベルよりCD「福島諭:室内楽2011-2015」リリース。日本電子音楽協会理事（2017年度〜）。作曲を三輪眞弘に師事。2014年「第18回文化庁メディア芸術祭」アート部門優秀賞、2017年「坂本龍一｜設置音楽コンテスト」佳作など。www.shimaf.com

© 新津保建秀

浦久 俊彦［モデレーター］Toshihiko Urahisa

文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本藝術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』（講談社）、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』『ベートーヴェンと日本人』（以上、新潮社）、『オーケストラに未来はあるか（共著）』（アルテスパブリッシング）など。最新刊は『リベラルアーツ』（集英社インターナショナル）。

岡田 暁生［音楽学者］Akeo Okada

1960年、京都府生まれ。音楽学者、京都大学人文科学研究所教授。大阪大学大学院博士課程単位取得満期退学、1991年までミュンヘン大学およびフライブルク大学に留学。2001年に『オペラの運命』でサントリー学芸賞受賞、2009年に『ピアニストになりたい！』で芸術選奨新人賞、『音楽の聴き方』で吉田秀和賞受賞。十九世紀のオペラおよびピアノ音楽の研究から出発し、近年ではジャズ史とも取り組んでいる。近刊に『モーツァルト』（ちくまプリマー新書）およびコロナ時代の音楽を論じた『音楽の危機』（中公新書：小林秀雄賞受賞）が話題を呼んだ。

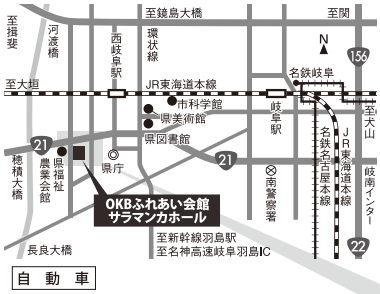
サラマンカメイトのご案内

特 典

- ●チケットの先行販売
- ●チケットの割引（1公演2枚まで）
- ●ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- ●グッズコーナーでの割引

※お電話（058-277-1110 入会申込書を郵送）および、インターネットでも受付ております。
※年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場

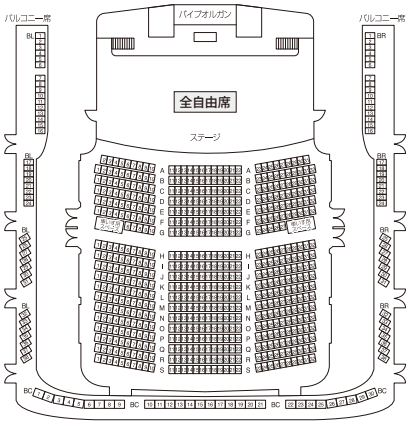


自 動 車

●JR西岐阜駅から車で約5分（南口タクシー乗り場より約2km）
●JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分　●無料駐車場完備

シンポジウム終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します。
正面玄関前（北側）から出発します。

公共交通機関

- ● JR岐阜駅（北口）より「岐阜バス」で約20分
- ● 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- ● JR西岐阜駅（南口）より「西ぎふ・くるくるバス」で約12分
- ● JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分

客席のご案内